



文化庁「九州・沖縄から文化カプロジェクト」参加事業

フィルハーモニックオーケストラ・長崎

“チャイコフスキー 3 大交響曲連続演奏会・第 3 弾”
第 6 回定期演奏会



2010年3月22日(月・休)

とぎつカナリーホール

主催／フィルハーモニックオーケストラ・長崎

後援／長崎県 長崎市 時津町 長崎新聞社 朝日新聞社

西日本新聞社 読売新聞西部本社 毎日新聞社

NHK長崎放送局 NBC長崎放送 KTNテレビ長崎

NCC長崎文化放送 NIB長崎国際テレビ エフエム長崎

長崎ケーブルメディア 長崎県音楽連盟

ピアニストの眩き

世の中の楽器奏者たちにとって、自分の楽器をどこへでも持ち運び、どんな演奏会においても、その弾き慣れた愛着のある自らの楽器で演奏するのが一般的である。しかしピアニストにとって、その大きさや重さが災いし、自らのピアノを持ち運ぶことは物理的にも経済的にも困難を伴うため、その昔ホロヴィッツなど世界の超一流と呼ばれたごく一部の人がやっていたぐらいで、不可能ではないが現実的ではない。結果、我々普通のピアニストは、会場備え付けの弾き慣れない(時には初対面の)ピアノを弾くことになる。だから良い演奏をするためには、いかなる癖を持ったピアノにも、その場でたちまち対応できる能力が問われる。

また、演奏会で演奏前に自分で楽器のピッチ調整をしないのは、これまたおそらくピアノ弾きだけではないだろうか。同じ鍵盤楽器であるチェンバロ弾きだって自分で調律をする…。まあピアノは弦の数が半端なく多いので、それらを完全に調律するには時間もかかるし、何といても経験に裏打ちされた確かな耳と技術が必要となる。本番前に演奏者自らが調律なんかしていたら、それだけで疲れてしまって演奏どころではなくなるであろう。

そんなピアニストたちの心のよりどころとなっているのが「ピアノ調律師」である。信頼できるピアノ調律師によるお膳立てのおかげで、私たちピアニストは安心して演奏に没頭することができる。だから私の理想は、自分好みの状態に仕上げた自らのピアノを持ち運べないなら、せめて自分好みの音やタッチを熟知してくれている調律師を、コンサートの度に連れ歩くことである。私にとって調律師とはなくてはならないパートナー。それくらい重要な、かけがえのない存在だ。

調律師様、あなた様の素晴らしい調律のおかげで、私は今日も安心して演奏することができます。これまでもこれからも、決して感謝の念を忘れることはありません。

内科・循環器科

江 良 医 院

院長 江 良 修
長崎市住吉町5-15
TEL 095-844-0415
FAX 095-843-8192

プログラム

Program

指揮 小山 大作

Daisaku Koyama, Conductor

ピアノ 林田 賢

Masaru Hayashida, Pianoforte Solo

ミハイル・イヴァーノヴィチ・グリнка

Михаил Иванович Глинка

歌劇『ルスランとリュドミラ』序曲

Увертюра – Опера Руслане и Людмиле

ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー

Пётр Ильич Чайковский

ピアノ協奏曲第1番変ロ短調 作品23

Концерт для фортепиано с оркестром №1 си-бемоль минор, соч.23

Allegro non troppo e molto maestoso
– *Allegro con spirito*

第1楽章

アレグロ・ノン・トロppo・エ・モルト・
マエストーソ – アレグロ・コン・スピリート

Andantino semplice – Prestissimo
– *Quasi Andante*

第2楽章

アンダンティーノ・センブリーチェ
– プレスティモ – クアジ・アンダンテ

Allegro con fuoco

第3楽章

アレグロ・コン・フォーコ

～ ～ ～ 休 憩 ～ ～ ～

Intermission

ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー

Пётр Ильич Чайковский

交響曲第6番ロ短調 作品74《悲愴》

Симфония №6 си минор, соч.74 «Патетическая»

Adagio – Allegro non troppo

第1楽章

アダージョ – アレグロ・ノン・トロppo

Allegro con grazia

第2楽章

アレグロ・コン・グラツィア

Allegro molto vivace

第3楽章

アレグロ・モルト・ヴィヴァーチェ

Finale. Adagio lamentoso

第4楽章

終曲 アダージョソ・ラメントーソ

プロフィール



指揮 小山 大作

長崎市出身。桐朋学園大学でファゴットを中川良平に、室内楽・オーケストラスタディを中川良平、カール・ライスター両氏に師事。また、シャーマン・ウォルト、レオナルド・シャロー両氏のレッスンを受ける。指揮を高階正光氏に師事。1986年マーフィー木管五重奏団メンバー。89年からは小澤征爾率いるサイトウキネン・オーケストラのメンバーとして、世界各地での演奏旅行に参加。絶賛を浴びる。91年、渡邊一正の指揮でウェーバーのファゴット協奏曲へ長調を共演。96年にはソロ・リサイタルを開く。一方、94-96年、若木ヶ丘フィルハーモニー定期演奏会にてブラームス交響曲第4番、チャイコフスキー「悲愴」、ショスタコーヴィチ「革命」などを指揮、02-03年には、立正大学管弦楽団定期演奏会にて、メンデルスゾーン交響曲第3番、チャイコフスキー交響曲第4番を指揮するなど、指揮者としての活動も本格化した。

2006年6月、フィルハーモニックオーケストラ・長崎の設立に関わり、同年11月、同オーケストラのデビューコンサートにて、ブラームス交響曲第1番ハ短調などを指揮し、万雷の拍手を浴びた。07以降、同オーケストラの第1回・第3回・第4回・第5回定期演奏会、長崎大学管弦楽団サマーコンサート2009を指揮する。現在、フィルハーモニックオーケストラ・長崎団長、OMURA室内合奏団ファゴット奏者、長崎大学管弦楽団トレーナー、長崎市立淵中学校吹奏楽部コーチとして、演奏の傍ら後進の指導に当たっている。



ピアノ 林田 賢

長崎市生まれ。84年桐朋学園大学音楽学部演奏学科に入学。86年長崎県新人発表演奏会に出演。87年第6回飯塚新人音楽コンクールにてピアノ部門第1位受賞。同年渡米し、州立インディアナ大学音楽学部にて5年間留学。在学中にフルーティスト、キャロル・ウィンセンス（現ジュリアード音楽院教授）に共演ピアニストとして抜擢され、そのコンサートの模様がナショナル・パブリック・ラジオを通じて全米に放送されたのを機に、本格的にコンサート活動を開始。アメリカ国内をはじめ日本・イギリス・フランス・オランダなど各地で演奏。イギリスで毎年行われているイースト・アングリアン・

インターナショナル・サマー・ミュージック・フェスティバルには度々招聘され、その演奏が英BBCラジオでも放送されたほか、ロンドン・シティ・チェンバー・オーケストラと共演し好評を博した。他にもソリストとしてインディアナ大学オーケストラや九州交響楽団、長崎交響楽団等と共演。また室内楽奏者、伴奏者としての評価も高く、ヴァイオリンの小林武史氏（元読売日本交響楽団コンサートマスター）に共演ピアニストとして抜擢され長年パートナーを務めるなど、共演者からの信頼も厚い。オックスフォード弦楽四重奏団のゲストピアニストとしてアメリカ国内各地で共演、同カルテットとシューマン&山田耕筰のピアノ五重奏曲をレコーディングしているほか、十数年来コンビを組んでいるヴァイオリンの大町滋とは、DuOH!（デュオー）のユニット名で2002年「Song without Words」、2007年「Vocalise」のCD2枚をリリース、好評を博している。また長崎県新人演奏会や若い芽のコンサート、ヴェルデ音楽コンクール、日本クラシック音楽コンクール等の審査員を歴任。これまでにピアノを故ジョルジュ・シェベック、故田中希代子、練木繁夫、福田伸光の各氏に、室内楽・二重奏をチェロの巨匠ヤーノシュ・シュタルケル、ヴァイオリンの名教授故ヨゼフ・ギンゴールドや故フランコ・グッリの各氏に師事。2001年より活動拠点を長崎に移し、県内外で幅広く活躍中。現在、長崎大学非常勤講師、NBC学園講師、長崎県音楽連盟副運営委員長等。ピアノコミュニティ ハーモニー主宰。また音楽以外にナレーターとしての顔も持つ。



医療法人 良幸会

ツダ眼科

●思案橋ツダ眼科 長崎市油屋町1-12 (思案橋バス停前)
☎823-9201

●南長崎ツダ眼科 長崎市柳田町1-10 (鶴見台入口)
☎832-5011

管弦楽 フィルハーモニックオーケストラ・長崎

「音楽の素晴らしさを聴衆・団員で分かちあおう」を合い言葉に、学生、主婦、公務員、会社員など12人の音楽愛好家が集い、アンサンブルの重視、既成概念にとらわれない演奏会スタイルと選曲などを楽団の柱として、2006年6月、長崎で第2番目の市民オケとして誕生。楽団創設の中心となった小山大作は、桐朋学園大学に学び、小澤征爾率いるサイトウキネン・オーケストラで数々のステージに出演した経験を持ち、既成のオーケストラとは一味違うサウンドを創ろうと、団長兼トレーナーとしてこのオーケストラの指導にあたっている。楽団員は、長崎市一円はもとより、諫早・島原・大村・佐世保・五島など県内各地・さらに佐賀・福岡から集まり、毎月3、4回の練習を重ねている。団員数が少なく、遠隔地の団員が多く練習効率が悪いことなど悩みもあるが、経験ある指導者の直接の指導という中味の濃い練習ができることが強みである。06年11月、とぎつカナリーホールにてデビューコンサートを開催し、斬新な選曲、演奏スタイルでセンセーショナルなデビューを果たした。07年5月に第1回定期演奏会。08年1月の第2回定期演奏会では、チェコ・ブラハ管弦楽団常任指揮者の武藤英明氏を音楽監督に迎え、ストラヴィンスキーの「火の鳥」組曲、ショスタコーヴィチの交響曲「革命」と20世紀の難曲に挑戦。08年5月には、古典派の2大巨匠、モーツァルトの第40番交響曲とベートーヴェンの「英雄」交響曲を取り上げた第3回定期演奏会「神童 vs 楽聖」を開催。第4回定期演奏会からは、チャイコフスキー3大交響曲連続演奏会に挑んでいる。また、定期公演では取り上げられることの少ない小品や室内楽作品の小演奏会を「ちゃんぼん」ソアレーやマチネーとして開いている。アンサンブルからフルオーケストラ、はたまた室内楽、古典派の名曲から21世紀の難曲・新曲までと、幅広く斬新な選曲や熱気あふれる演奏スタイルで観客を魅了している。これまでクラシックにはあまり馴染みのなかった方にも、「通」の方にも楽しんでもらえる、「変幻自在、なんでもあり」のオケとしての活躍が期待される。

2006. 11. 18	デビューコンサート とぎつカナリーホール	レスピーギ/リュートのための古風な舞曲とアリア第3番 リヒルト・シュトラウス/13管楽器のためのセレナード変木長調 ジルコピッチ/トリオ・パー・ウノ ブラームス/交響曲第1番/短調作品68
2007. 5. 26	第1回定期演奏会 “ドヴォルザーク〜コーブラ ンド〜バーバー 新世界の系 譜” とぎつカナリーホール	荻久保 和明/黒い典礼〜第2楽章〜 コーブランド/市民のためのファンファーレ バーバー/弦楽のためのアダージョ 作品11 チャイコフスキー/スラヴ行進曲 作品31 ドヴォルザーク/交響曲第9番木短調作品95 “新世界より”
2008. 1. 14	第2回定期演奏会 “火の鳥 & 革命” 長崎ブリックホール	ストラヴィンスキー/バレエ「火の鳥」組曲 1919年版 ショスタコーヴィチ/交響曲第5番二短調作品47
2008. 5. 17	第3回定期演奏会 “神童 vs 楽聖” とぎつカナリーホール	モーツァルト/歌劇《後宮からの逃走》序曲 K.384 モーツァルト/交響曲第40番ト短調 K.550 ベートーヴェン/交響曲第3番変木長調作品55 《英雄》
2008. 6. 1	PON みちのおホール ミニコ ンサート“見に来ん”第1回 みちのおホール	バッハ/管弦楽組曲第3番 BWV.1068 から第2曲 (G線上のアリア) モーツァルト/ディベルティメント 二長調 K.136 モーツァルト/ピアノと木管のための五重奏曲変木長調 K.452 より第1楽章 ベートーヴェン/ピアノと管楽器のための五重奏曲変木長調 Op.162 より第1楽章 ほか
2008. 11. 24	‘08秋のちゃんぼんマチネー in 県美術館 長崎県美術館2階ホール	JS.バッハ (木部与巴仁) / 『バッハの無伴奏ヴァイオリン曲とともに詠む・塔のある町』 ポロディン/弦楽四重奏曲第2番二短調より 第1楽章 酒井健吉/木部与巴仁 『庭鳥、飛んだ』〜朗読と室内管絃楽の為の〜 モーツァルト/セレナーデ第6番二長調K.239 『セレナータ・ノットゥルナ』 タファネル/木管五重奏曲ト短調 ほか
2009. 2. 8	第4回定期演奏会 “チャイコフスキー3大交響 曲連続演奏会・第1弾” とぎつカナリーホール	酒井健吉/『祈る女〜アルトとオーケストラの為の〜』 (アルト:かのうよしこ) モーツァルト/ピアノ協奏曲第23番イ長調K.488 (ピアノ:大野陽子) チャイコフスキー/交響曲第4番ハ短調作品36
2009. 6. 20	‘09初夏のちゃんぼんソアレ ー in メルカつきまち 5階市民生活プラザホール	酒井健吉/ピアノと絃楽四重奏の為のコンチェルト・カプリチオーソ (弦楽合奏版) WAモーツァルト/弦楽セレナード「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」 Lモーツァルト/おもちゃのシンフォニー スティーヴ・ライヒ/手拍子の音楽 WAモーツァルト/管楽セレナード第12番ハ短調K.388 (384a)「ナハトムジーク」 トリグヴェ・マドセン/チューバとピアノの為のソナタ Op.34 ほか
2009. 10. 11	第5回定期演奏会 “チャイコフスキー3大交響 曲連続演奏会・第2弾” とぎつカナリーホール	チャイコフスキー/歌劇『エフゲニー・オネーギン』より、ポロネーズ チャイコフスキー/ヴァイオリン協奏曲二長調作品35 (ヴァイオリン:木野雅之) チャイコフスキー/交響曲第5番木短調作品64

本日のオーケストラ

(客員出演者を含みます)

指揮

小山 大作

コンサートマスター

中原 大 幾

1st ヴァイオリン

安高 智 洋
太田 さあり
小田部 志歩子
高田 拳
田元 正之
野口 誠
藤木 修 爾
松本 茉梨奈
森 優 樹
横田 雅 憲

2nd ヴァイオリン

今村 英 恵
岡本 誓 志
川崎 恵 理
齋藤 亨
鈴木 美沙子
鶴田 明 子

成清 綾 子
野口 明 子
野澤 佳穂子
山口 美知子

ヴィオラ

大津 元 起
岡本 昭
川崎 量 子
辻 奈 佑
寺田 篤 史
長嶋 拓 生

チェロ

大井 久美子
高田 浩 一
田川 博 之
直塚 真理子
永留 加奈子
三村 敏 夫
山 道 由 佳

コントラバス

太田 りつえ
瀬尾 照 明

田中 克 弥
谷口 正 美
福田 一 毅

フルート&ピッコロ

大城 美 枝
高崎 友 香
福田 久美子

オーボエ

大塚 英 樹
西川 千 穂

クラリネット

垣内 青 那
福田 憲 弘

ファゴット

池田 祐 希
牟田 洋 介

ホルン

佐藤 雅 秋
竹内 直 樹

田中 賢 治
西川 佳奈子
吉岡 浩 太

トランペット

木須 裕 也
福井 雄 一
山口 恭 弘

トロンボーン

梅原 恵 子
藤井 伸 武
矢野 達 也

テューバ

永田 信 一

ティンパニ

福田 祥 一

パーカッション

柴田 昌 知
福田 崇 一

(都合より変更になることがあります)

ゆううつ・不安・ストレス・物忘れなどの心の健康相談

心療内科・神経科・精神科

すがさきクリニック

院長 菅崎弘之

TEL 095・820・1162 (予約制)

西浜町電停前銅座郵便局 4 F

■月・木・金 9:00~18:00

火・水 9:00~20:00

土 9:00~13:00

■休診日 第2・4土曜日、日祝日

精神科・神経科・心療内科・内科・歯科・皮膚科

尾 道 ノ 病 院

●心の健康相談●精神科デイケア

●精神科デイナイトケア●精神科作業療法

理事長兼院長 松本 純隆

長崎市虹が丘町1-1

県立長崎工業高校うえ

☎095(856)1111

お得なチケットの紹介

■ 一般券（正規料金） ←小中学生がいっしょなら

☆プレイガイド、当団員等から購入された通常の一般券で、小中学生1名様のご同伴が無料です。
☆他の割引との併用はできません。

■ ペア/グループ割引 2割引（1500円→1200円） ←お二人で、グループで

☆2名以上でご来場の場合は、ペア/グループ割引がお得です。
☆当団直販で事前申込みによる取扱いです。プレイガイドでは取り扱っていません。
☆お申し込みは、郵送、FAX、または電子メールにて、住所・お名前・購入枚数・連絡方法などを当団事務局へお知らせください。当団から演奏会情報などのDMを送らせていただくことを条件に、割引チケットをご提供（自宅等へお届け）します。
☆発売枚数に上限を設定し、一定の枚数を販売すれば販売終了しますので、お早目にお申しください。
☆他の割引等との併用はできません。小中学生の無料同伴はできません。
☆お支払いは、郵便振替払込みか銀行口座振込みが選べます。

■ 定期会員「PON友会」 ←特典がいろいろ。行けなくなっても損しない

☆会費2,500円で、入会后2回の定期演奏会が入場無料。優先入場。
☆ご来場されなかった場合、先の回へ延長することが出来ます。券の返却が必要です。
☆当日券窓口で、ご同伴者1名様の入場料を半額に
☆「お友達もごいっしょに」キャンペーンでお友達も割引料金で演奏会に誘えます。
☆演奏会終了後の指揮者・ソリストを交えてのレセプションへご優待(実費)
☆会報（季刊）による音楽情報の提供
☆当団関係者の演奏会への割引券の提供など 色々な特典があります。

定期会員「PON友会」募集中

資料請求・お申込は、アンケート用紙の裏をご利用ください。本日、「第7・8回定期会員」のご入会を当日券デスクで承っております。

すぐ弾けるから楽しい!
大人のためのピアノレッスン♪



TOTSUKA PIANO METHOD

- ・ 私達は大人を教える
 スペシャリストです
- ・ 特許教材[数字奏法譜]が
 あなたの夢を叶えます
- ・ 無料体験レッスン実施中
 (要予約)

林田賢ピアノコミュニティ
ハーモニー (095) **829-3290**
長崎市浜町2-17 五島ビル203 (万屋通りコクラヤ斜め向かい)

プログラム・ノート

Михаил Иванович Глинка ミハイル・イヴァーノヴィチ・格林カ(1804-1857)

Увертюра – Опера Руслане и Людмиле 歌劇『ルスランとリュドミラ』序曲

格林カは、ロシア的民族性を取り入れた音楽で知られ、リムスキー=コルサコフをはじめとするロシア5人組へ多大な影響を与えた“近代ロシア音楽の父”と呼ばれる。

歌劇『ルスランとリュドミラ』は、プーシキンの長編詩に基づくメルヘン・オペラであるが、序曲だけが有名で、日本では殆ど上演されることがない。物語は古代ロシア。キエフ大公の娘リュドミラ姫と騎士ルスランの婚礼の宴の最中、黒魔術師チェルノモールがリュドミラをさらっていく。大公はルスランを含む3人の若者に「姫を助け出した者に姫と国土の半分を与える」と宣言。3人は悪魔からリュドミラを救い出す旅に出る。魔術や妨害、様々な困難を乗り越え、最後はルスランがリュドミラを救い出し、再びめでたし、めでたしの大団円となる。…ということで、黒魔術師、白魔術師、老魔女、美少女、巨人、眠りの呪文、剣、魔法の指輪…と登場人物やアイテムは、はやりのRPGそのもの。今の若者にうけそう(^)v

序曲は急速な2拍子。弦楽器が全員ですさまじい勢いでユニゾンで冒頭に注目（揃えばカッコいいよ）。これから始まる物語の幕開けに相応しいわくわくする音楽。第一主題には婚礼の場面に先立つ華麗な音楽が、第二主題には「ルスランのアリア」が使われている。「のだめカンタービレ」の中の指揮者コンクールのシーンで、主人公ではないほうの日本人指揮者が跳びはねながら指揮をしたのがこの曲です、覚えていませんか？ 音楽的に面白いのは、終盤のトロンボーン、チェロ、ベースなどに現れる下降する全音音階*で、黒魔術師チェルノモールが花嫁を奪いに現れるシーンで「この世ならざる異様さ」を表現するために用いたとされている。

*全音音階：ドビュッシーが1889年のパリ万博でインドネシアの音楽を聞いて思いつき、本格的に使用し始めた。ド-レ-ミ-ファ#-ソ#-シ-ドと音階の全ての音の幅が全音になっている。格林カが使用したのはドビュッシーより40年以上も早かったことになる。

Пётр Ильич Чайковский ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー(1840-1893)

Концерт для фортепиано с оркестром №1 си-бемоль минор, соч.23

ピアノ協奏曲第1番変ロ短調作品23

この曲の冒頭を聞いたことの無い人はいないだろうというくらい「あ〜っ、知ってる〜！」のはずですね。今でこそ、数あるピアノ協奏曲の中でも人気曲の一つですが、前回の定期演奏会で木野雅之さんが演奏したヴァイオリン協奏曲と一緒に、この曲も最初は散々に言われたようです。チャイコフスキーが当時ロシアで一番のピアニスト、ニコライ・ルビンシュタインに草稿を聞かせたところ、「陳腐で、不細工で、貧弱で、役立たずで、演奏不可能であるので、私の意見に従って根本的に書き直せ」と言われました。簡単にいうと「こんなん、弾けるわけないやろ！アホちゃうか〜」ですね。チャイコフスキーは意地になって書き直さず、ドイツの指揮者兼ピアニスト、ハンス・フォン・ビューローに献呈し、ヨーロッパとアメリカで初演され大成功を収めました。ルビンシュタインも反省して、後に何度も弾いたとのこと。チャイコフスキーは、後年2回改訂し、現在演奏されるのは第3版ということになります。

曲は3楽章形式。第1楽章の印象深い冒頭とそれに続くシンフォニックで豪華絢爛な曲想（約4分）は、この協奏曲を通して二度と出てきません。何かもったいない感じがしますが、その贅沢さがまたいいのかもかもしれませんね。長い序奏部分が終わると、一転して、ウクライナ民謡にヒントを得たといわれるちょこまかとした落ち着いた無の第一主題がピアノから始まります。第二主題の叙情的なメロディ、展開部のピアノとオーケストラの掛け合いなど、聴きどころの多い第1楽章は、まるで全曲の終わりのような盛り上がりを見せて堂々と終わります。思わず拍手がでることもしばしば。いや、いいんですよ、拍手をしても。ただ、ピアニストや指揮者はそこでは拍手に出来ないで、変に思わないでくださいね。第2楽章は、フルートのホッとさせるメロディから始まり、やがてピアノやチェロに受け継がれます。中間部は、速いスケルツォでピアニストのテクニックの見せ所。ほうと思って見とれていると出損ねたりするので、楽団員にとっては要注意箇所かな。ここを振れない指揮者がいて、楽団員がみんな指揮者は見ずにコンマスに合わせたという実話があります。今日はそういうことはないでしょうけど。第3楽章は、これまた民謡的な主題。かなり速い演奏で、ピアノとオケの協奏ではなくて、競争・競走という感じです。スリリングな協演をお楽しみに。

昨年2月の第4回定期演奏会から始まったチャイコフスキー3大交響曲連続演奏会の締めくくりとなるのは、交響曲第6番《悲愴》です。

Kは、今から24年前のある冬の夜、母校のオーケストラの演奏会に聴衆として客席の最後方に座っていた。何か予感のようなものがあり、急に勤め先に休暇をもらい、飛行機を乗り継いで間に合った演奏会だった。前半のプログラムが何だったか覚えていない。アンサンブルのぐっと良くなった後輩達の演奏を感心して聴いていた。悲愴が始まると、前の席で演奏の出来栄をあれこれ話していた音大関係者とおぼしき二人の会話が止まった。第1楽章の闇と光、醜さと美しさ、第2楽章の優美と憂うつ。だんだん団員の凝集力が高まってきて、第3楽章の軽妙と勇氣。そして第4楽章の悲哀と輝き…先の二人は身じろぎもしなくなった。気がつくとも会場のあちこちからすすり泣きの声が聞こえるではないか。まさかと思ったが演奏が終わる頃には、Kも涙が溢れ出して止まらなくなった。最後の音が消えると長い静寂…実際はせいぜい10秒くらいだったろうが、とてつもなく長く感じた。魂を揺さぶられる演奏というものには一生のうちにそう何回も出会うものではない。しかし、学生オケや市民オケでも、そんな神がかりのような演奏をすることがある。その場に居て、思いを一に出来ることは、やはりライブだからこそ。さて、今日の私たちの演奏は皆さまの魂を揺さぶることができるでしょうか。どうか、演奏が終わるやいなや競ったよう拍手をされませんように。チャイコフスキーの一生に思いをさせて、しばし余韻に浸ってみてください。

悲愴の謎1：タイトルは誰がつけたのか？

弟のモデストが初演の翌日に「悲劇的」という表題を提案したが、チャイコフスキーは賛成せず、次に弟が口にした「悲愴」という言葉に「それだ、ぴったりだ」と喜んだという説があるが、これは創作で、自筆譜や出版社への手紙で、脱稿のころには既に作曲者により標題が付けられていたことが明らかになっている。

悲愴の謎2：タイトルの《悲愴》は誤り？

わが国では《悲愴》のタイトルで知られるこの曲だが、当然「悲愴」は日本語である。チャイコフスキーが自筆のスコアに書き込んだのはロシア語で「*Патетическая*」(パテティーチェスカヤ)であり、これは「情熱的」「熱情」などを意味する。ところが、出版社へはフランス語の「*Simphonie Pathétique*」と標題を付けるよう指示しており、「*Pathétique*」は「悲愴」あるいは「悲壯」と訳される。彼は当時の文化人としてフランス語もペラペラであったので、おそらく彼の中ではロシア語の「*Патетическая*」が意味するものとフランス語の「*Pathétique*」が意味するものの共通項が、一番言い得ているところなのだろう。

悲愴の謎3：《悲愴》は遺書代わりか？

初演のわずか9日後にチャイコフスキーは急死しており、当初から自殺説があった。しばらく前には、彼は同性愛者で当時それは犯罪だったので、同窓生らが秘密裁判を開いて彼に自殺を迫ったという説がまことしやかに信じられていた。現在の研究では、彼の死因はコレラ及びその余病である尿毒症であり、直接の死因は前日に併発した肺水腫であることがカルテなどから明らかになっている。少なくとも、彼自身は《悲愴》を遺書代わりに書いたような形跡は見当たらない。

第1楽章は、*pppppp*から*fffff*までダイナミックレンジが広く、第2楽章には、5拍子のワルツを採用、通常は第4楽章に置かれる音響的に盛り上がる楽章を第3楽章に持ってきたり、逆に最終楽章にゆっくりとしたテンポを持ってきたりと、かなり独創的な構成になっている。チャイコフスキーはこの交響曲を書く前に「人生」という標題の交響曲を書き始めていたが、これは途中で放棄され、ピアノ協奏曲第3番に転用された。第6交響曲はタイトルこそ《悲愴》であるものの、描こうとしていたのはやはり「人生」のようなものかもしれない。それは、必ずしもチャイコフスキー個人の人生ということではなく、もっと普遍的に誰にでもある人生上の葛藤や波瀾、安らぎやたそがれ、愛や別れと言った人間くさい「ドラマ」なのかも。第4交響曲の冒頭に現れる「運命の動機」は第4交響曲の第1・第4楽章に、また、形を変えて、第5交響曲でも全楽章に出てくる。第6交響曲でも、さらに変形された3連符の形であちこちに現れる。そして、とうとう《悲愴》の終楽章で、チェロとベースだけの演奏となって静かに息を引きとるとき、やはりそこに運命の動機が執拗に現れる。

第6交響曲は結果的に彼の最後の作品となってしまったが、それだけでなく、ハイドンに始まり、モーツァルト、ベートーヴェン、ブラームスと発展してきた交響曲という形式の、これもまた最後に位置し、一部の例外を除いて交響曲というジャンルは廃れていく、まさに、ロマン的な交響曲の終焉を象徴するものと言えなくもない。

後援会「PON倶楽部」会員 (敬称略・順不同、H22.3.13現在)

- 会 長 松本純隆 (医療法人厚生会理事長)
- 特別法人 (株)文明堂総本店 (医)厚生会道ノ尾病院 (医)清潮会三和中央病院 (宗)妙行寺
(株)長菱制御システム
- 法 人 (株)メモリード (株)ダンクユ (医)ツダ眼科 (医)祥仁会西諫早病院 (株)酒の吉田屋
(医)共生会長崎友愛病院 (医)宝マタニティクリニック (医)仁和会下村産婦人科病院
(医)春秋会南長崎クリニック (有)チューケングループ長崎医学中央検査室
(医)常岡歯科診療所 (医)藤田クリニック (医)ART 岡本ウーマンズクリニック
- 個 人 大久保喜久子 木高巨志 小久保政孝 許斐義彦 坂上優子 田川安浩 道津剛佑
中川元治 林 邦昭 松本 勝 道辻俊一郎 山田笙子 吉武廣司 ほか13名
- 賛 助 音楽喫茶わたべ 宝スポーツ 徳田整骨院 ファミリーシューズヤマモト 古川鍼灸治療院
(有)吉岡印章堂

後援会「PON倶楽部」会員募集中 物心両面からサポートして下さる後援会員を募集中です。

個人/法人/特別法人会員には、一口2名様のお優先座席、優先入場、指揮者リハーサル・終演後のレセプション(実費)への参加、プログラム冊子や当回ホームページへの会員名の掲載、会報による音楽情報の提供などの特典があります。

◇個人会員(一口1万円) : チケット2枚無料進呈

◇特別法人会員(一口5万円) ◇法人会員(一口2万円) : 口数に応じた特典があります。

◇賛助会員(当回へのご協力) : 内容に応じた特典があります。

謝 辞

公演にあたりご協力をいただいた、後援会をはじめ、次の個人・団体・企業の方々に篤くお礼申し上げます。

【後援】長崎県、長崎市、時津町、長崎新聞社、朝日新聞社、西日本新聞社、読売新聞西部本社、毎日新聞社、NHK長崎放送局、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、エフエム長崎、長崎ケーブルメディア、長崎県音楽連盟【広告】(株)メモリード、ツダ眼科、道ノ尾病院、虹が丘病院、おおみや小児科、三島内科医院、みちクリニック、三和中央病院、本田工務店、こいで小児科、江良医院、たいすけ動物病院、すがさきクリニック、ピアノコミュニティ ハーモニー【チケットिंग】ハマヤブレイガイド、絃洋会楽器店、くさの書店西友店・チトセピア店、パピルス時津店、カフェ・キララ、長崎県職員生活協同組合【ポスター・チラシ】長崎市ふれあい掲示板、時津町役場、時津公民館、時津町図書館、長与町役場、長与町民文化ホール、長与町図書館、レストランかじ、クリーニングTOMO、伊勢屋木下酒店、吉見耳鼻咽喉科、吉見皮膚科、諸熊内科、古書店夢屋、調剤薬局もり、坂本生花店、サンドイッチMAYUMI、松尾酒店、ホテルいけだ、長崎友遊ボクシングクラブ、川内精肉店、(株)丸二興産ガレージ、cafe Beans、町家、(有)吉浦表具店、王様フーズ、(有)永武堂、中町薬局、恵美須町薬局、長崎パールホテル、長崎オリオンホテル、長崎お土産すみや、ホテルクオーレ長崎駅前、篠田弁慶堂、ドレミ薬局長崎駅前店、博多屋武道具店、鈴木商店、亀屋饅頭、旭澱粉、中島栄三(株)、長崎ベッ、思案橋薬局、風花、寿し 西むら、カダヤ服飾店、好文堂書店、新地町調剤薬局、絃洋会楽器店ナーブス、音楽喫茶わたべ、せとぐち外科クリニック、吉岡印章堂、アウトドアスポーツ山の家、大衆酒場こやま、(有)福本旅館、川原整骨院、古川鍼灸治療院、焼きたてのパン サンマルコ、整体ナガ咲、(有)昭光電気、ぶくせん、白石商店、美容室X、ジョイフルサン大浦店、長崎国際大学、井上米穀店、ラピエス、櫻山鉄工所、うどん川瀬図書館前店、ファミリーシューズやまもと、産婦人科宮村医院、長崎大学生協、長崎大学学生支援課、石田歯科医院、徳田整骨院、緑ヶ丘地区ふれあいセンター、石野皮膚科、下田外科医院、ごんどう小児科、三幸鍼灸院、キハラ扇町歯科、石本板金工業、kitchenけんじ、味どころ おふくろさん、宝町薬局、タカラスポーツ、石地商店、宝町松尾歯科クリニック、南整骨院、調剤薬局もり、サイノオ耳鼻咽喉科医院、アリアン亭、増倉印店、観光通薬局、小久保学習教室、FAN美容室、長崎市公会堂、長崎市民会館、チトセピアホール、諫早文化会館、諫早市民センター、諫早市多良見支所、諫早たらみ会館、諫早市図書館、たらみ図書館、多良見のぞみ会館、原田楽器、ほか多数【デザイン・写真・印刷】プライム・デザイン、片山禎久、竹内崇郎、櫻田真由美、山下康平、昭英印刷【プレトーク関連】長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館、吉弘医院【ステージ・フロント・会計等】岸川正洋、酒井健吉、吉永沙和香、大峰史子、江口寛子【楽譜・楽器等】九大フィルハーモニーオーケストラ、長崎大学管弦楽団、長崎市民吹奏楽団、三菱重工長崎吹奏楽部【練習会場】みちのおホール、とぎつカナリーホール、長崎ブリックホール【調律・練習ピアノ】中村 亨、寺田万実子【広報ほか】文化庁九州・沖縄から文化力プロジェクト、長崎文化ジャンクション、長崎医師会旬報、月刊こだま(長崎県音訳の会)、Freude、コンサートスクエア、オケ専、長崎よかナビ、長崎タウン(敬称略・順不同、重複は省略)

お名前の漏れもあろうかと存じますが何卒ご容赦ください。このほかに多くの方々からご支援、ご協力をいただきました。ありがとうございます。

救急病院

医療法人 厚生会

虹が丘病院

循環器科 内科 消化器科 呼吸器科 神経内科
皮膚科 放射線科 心臓血管外科 外科 肛門科
整形外科 リハビリテーション科(理学療法・作業療法)
リウマチ科

長崎市虹が丘町1番1号(道ノ尾病院となり)

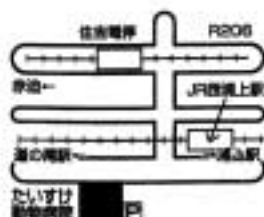
☎(095)856-1112

たいすけ動物病院

平日・土 10-13時 17-20時
日・祝日 10-13時 14-17時
水曜日 休診

長崎市柳谷町2-3

TEL. **840-9100**



建築設計・施工

有限会社

本田工務店

長崎市城山台1丁目34番2号

〒852-8027 TEL095(862)9111

FAX095(862)9101

心療内科・精神科

みちクリニック

市役所前バス停すぐ・桜町ビル4階

☎ **095-818-2300**

〈電話予約制〉

三島内科

通所リハビリテーション

TEL(直通):895-9101



三島内科医院

長崎市上戸町2-8-16



こいで小児科

さくらっこルーム

※日曜祝日休診

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00~12:00	○	○	○	○	○	△
午後2:00~6:00	○	○	★	☆	★	—

時津町西時津郷75-10

さくらっこルーム

★予防接種・乳児健診は、毎週水曜日と金曜日の午後2時-3時に行っています。

☆毎週水曜日午後2時-3時はBCGの予防接種を行っています。

事前に受付もしくは電話にてお申し込みください。

一般診療は、3時半以降の受付となります。

☎ **881-7111**

☎ **881-7561**

(病児保育受付)



三和中央病院

精神科 神経科 内科 歯科

長崎市布巻町165-1

TEL 095-898-7511 FAX 095-898-7588

- ・心の健康相談
- ・思春期・青年期に関する相談
- ・老年期に関する相談
- ・アルコールに関する相談

おおみや小児科

院長 大宮 朗

長崎市上野町2-1

TEL (095) 847-6555

カトリックセンター前バス停・信愛幼稚園向い側

ありがとうをもっと届けたい

ありがとうにもっと応えたい



メモリードグループ

(長崎・佐賀・福岡・宮崎・群馬・東京・埼玉)

[総合本部]

〒851-2127 長崎県西彼杵郡長与町高田郷1785-10

TEL 095-857-1777 <http://www.memolead.co.jp>

10初回の

演奏会 予告

ちゃんぽんマキナー in 道ノ尾病院アトリウム

6月27日(日)予定 14:00 道ノ尾病院ロビー

室内楽小品のいろんな「具」が美味しい 小さい演奏会 (詳しくはWebsiteで)

第7回定期演奏会 バッハ・ベートーヴェン・ブラームス

9月20日(月・祝) 14:00 とぎつカナリーホール

ベートーヴェン 「レオノーレ」序曲第3番作品72a

J. S. バッハ 2つのヴァイオリンのための協奏曲ニ短調 BWV1043

(ヴァイオリン: 前田純美加、中原大幾)

ブラームス 交響曲第4番ホ短調作品98

第8回定期演奏会 とぎつニューイヤーコンサート

1月16日(日) 14:00 とぎつカナリーホール

モーツァルト クラリネット協奏曲イ長調 (クラリネット: 山田芳美)

ワルツ王ヨハン・シュトラウスほか ウィーンゆかりの作曲家の作品

乞う、ご期待!

フィルハーモニックオーケストラ・長崎

お問合せ 電話 090-7390-2389 E-mail info_philnag@yahoo.co.jp

仮事務所 〒851-0494長崎市布巻町165-1 三和中央病院医局気付

Fax 095-898-7588

HP <http://PONagasaki.com> 携帯用HP <http://PONagasaki.com/k>